

令和7年度 九州大学一般選抜（前期日程）小論文 出題意図

設問 1

問 1

(1)

本問では、グラフおよび文字資料から情報を読み取り、日本社会についての一般知識と結びつけながら論理的な文章を構成する能力を問うている。現代社会の重要課題である観光について、戦後日本の観光をめぐる政府資料を観光客数の推移に関連付けつつ読み解き、その発出の背景を説明することでこの能力を測る。また資料に現れる事項や事象について、キーワード群から語句を選択しつつ自らの文章として再構成することにより、現代日本で一般に使用されている語句の理解度を測る。

(2)

本問では、資料から読み取れる情報に基づいて自らの見解を明確に表現する能力を問うている。資料からインバウンド観光の動向を読み取り、インバウンドをめぐる政府の意図と合致および齟齬する点を整理しながら自らの主張を説得的に展開することでこの能力を測る。

問 2

本問では、自由な発想力とプロジェクト構想力を問うている。資料のデータに基づいて自由闊達なアイデアを提示し、それを実現する具体的な計画に落とし込むことでこの能力を測る。また、単純に観光を地域振興の万能薬として扱うのではなく、それがもたらす様々な影響に目配りできているかを問うことで、課題解決に付随する複雑さを理解し、多面的な利害関係を想像する力を備えているかを測る。

設問 2

地球温暖化が進行して、ゼロ・エミッションでは不十分であり、ネガティブ・エミッションの取り組みが急務である中で、二酸化炭素の空気直接回収や地下貯留などの実証実験や商用運用が開始されている。これらに関する多様なデータや情報を読み解き、それらを矛盾なく結びつけて説明する能力、提示されたデータや情報に基づいて課題解決に向けた方策を根拠を示しながら説明する能力を問う問題である。

問 1

地球史における二酸化炭素、酸素、化石燃料形成量の変動を示す資料を読み解き、それらの相関関係とメカニズムを説明する問題である。資料を正確に読解する力と、読み取った内容を一連のストーリーとして説明する力を問うている。

問 2

大気中の二酸化炭素を回収し地下貯留する試みにはリスクも伴う。二酸化炭素を含む流体の地下貯留に伴って発生する現象、または発生が予測される現象に関する資料を読み解き、地下貯留を社会実装する際に注意すべき点や、施設設置自治体をはじめとした利害関係者への説明方法について、データや情報に基づいた解決策を提示する能力を問うている。